

爽風だより

編集・発行

宇都宮短期大学人間福祉学科
食物栄養学科
宇都宮共和大学子ども生活学部

「爽風」同窓会

2026

第 23 号

役員挨拶

崔見 木綿子



会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私事ではございますが息子がこの春、高校へ入学し新たな環境での出会いや経験の大切さを改めて感じております。

また、現役の皆様やこれまで

の本会を支えてこられた先輩方の歩みのおかげで私達卒業生も様々なご縁につながっていることに心より感謝申し上げます。

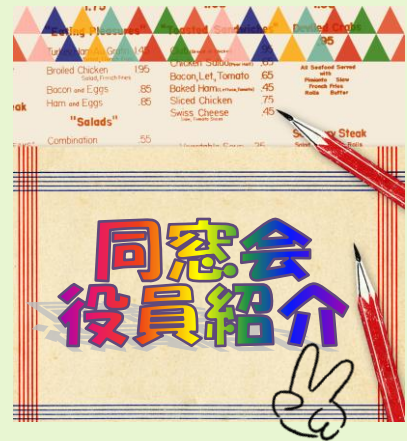
さらにこの度、新たに食物栄養学科の卒業生の皆様にも爽風会へご参加いただくことになり、会の輪が一層広がりましたことを大変嬉しく思っております。

爽風会では、会員の皆様が集う機会として大学祭当日に総会を開催しております。活動報告や今後の企画についても意見交換を行っており、ご友人やご家族と共にご参加いただくなど、毎年大変賑やかな会となっております。卒業後は大学を訪れる機会が少なくなりますが、ぜひこの機会に足をお運び頂き、懐かしい時間を共有していただければ幸いです。

たら幸いです。

今後とも爽風会の活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。





会長

中川 紘子 (人間福祉学科一期生)

副会長

大山 高正 (人間福祉学科一期生)
 窪見木 綿子 (人間福祉学科三期生)

書記

寺門 道子 (人間福祉学科四期生)

会計

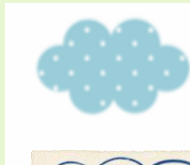
石井 泰之 (人間福祉学科三期生)
 伴 沙織 (人間福祉学科三期生)

会計監査

糸川 昌彦 (人間福祉学科三期生)

総務

落合 桃子 (子ども生活学部三期生)



第59回彩音祭







令和 6 年活動報告

	活動内容
10月	爽風総会案内状発送
11月	役員会・爽風総会・彩音祭援助
3月	爽風だより第 21 号をホームページへ掲載・更新

令和7年活動計画

	活動内容
7月	爽風ホームページ更新
10月	爽風総会案内状発送
11月	役員会・爽風総会・彩音祭援助
R8年2月	役員会
3月	爽風だより第22号爽風ホームページへ掲載

令和6年度決算報告

【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
5年度繰越金	12,078,327	12,078,327	0	
卒業生会費	1,100,000	1,100,000	0	人福22期35名 食栄4期26名 子ども10期生49名
利息等	173	5,943	5,770	利息
その他	5,000	52,948	47,948	卒業祝賀会残金、活動費戻し
合計	13,183,500	13,237,218	53,718	

【支出の部】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	50,000	330	-49,670	手数料
通信費	150,000	153,977	3,977	彩音祭案内印刷・振込手数料
大学祭援助金	200,000	200,000	0	彩音祭補助
学位授与式・卒バ補助	50,000	30,000	-20,000	学位授与式生花
同窓会活動費	100,000	60,100	-39,900	会議費・ガソリン代
同窓会カフェ	50,000	0	-50,000	同窓会カフェ
慶弔費	30,000	0	-30,000	
大学支援金	120,000	30,000	-90,000	彩音祭生花代
小計	750,000	474,407	-275,593	
次年度繰越金	12,433,500	12,762,811	329,311	
合計	13,183,500	13,237,218	53,718	

令和7年度予算

【収入の部】

項目	決算額	予算額	比較増減	備考
6年度繰越金	12,078,327	12,762,811	684,484	
卒業生会費	1,100,000	1,010,000	-90,000	人福23期21名 子ども11期50名 食栄5期生30名
利息等	5,943	5,000	-943	利息
その他	52,948	22,189	-30,759	卒業祝賀会残金、活動費戻し
合計	13,237,218	13,800,000	562,782	

【支出の部】

項目	決算額	予算額	比較増減	備考
事務費	330	50,000	49,670	
通信費	153,977	170,000	16,023	彩音祭案内印刷代・振込手数料
大学祭援助金	200,000	200,000	0	彩音祭補助
学位授与式・卒バ補助	30,000	50,000	20,000	参加費・生花代等
同窓会活動費	60,100	100,000	39,900	会議費・ガソリン代
同窓会カフェ	0	50,000	50,000	
慶弔費	0	30,000	30,000	
大学支援金	30,000	100,000	70,000	彩音祭花代・ユニホーム補助
小計	474,407	750,000	275,593	
次年度繰越金	12,762,811	13,050,000	287,189	
合計	13,237,218	13,800,000	562,782	

収入金額 13, 237, 218円
支出金額 474, 407円
差引金額 12, 762, 811円

差引金額 12, 762, 811円は次年度に繰り越します。
会計 石井 泰 伴 沙織
会計監査 桑川 昌彦

教員メッセージ



「心にいつも音楽を」

子ども生活学部 新井 祐子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。同窓生の皆さん、お元気ですか。

私は令和4年4月に子ども生活学部に着任し、早いもので4年目となりました。音楽の授業で皆さんと出会い、一緒に歌ったりピアノを練習した時間は、私にとってとても大切な思い出です。皆さんがさまざまな経験を重ねながら成長していく姿を見

ることができ、本当に嬉しく思っています。

ここで、音楽のエピソードをひとつ。音楽には、音を重ね合わせる「ハーモニー」があります。一つひとつの音は違っていても、お互いの音を聴きながら重ねることで、美しい響きが生まれます。これから社会に出ると、多くの人々や子どもたちと出会うことでしょう。嬉しいことだけでなく、迷ったり悩んだりすることもあるかもしれませんが。そんなときは、一人で頑張りすぎず、周りの人の声に耳を傾けてください。人は互いに支え合うことで、温かなハーモニーをつくることができます。私も多くの方々に支えていただき、今があります。どうか人とのつながりを大切にしてください。

音楽は、一人で楽しむとき

にはそつと心に寄り添い、みんなで楽しむときには人と人をつなげる力を持っています。皆さんのそばに、これからもいつも音楽がありますように。

皆さん一人ひとりが持っている自分らしい「音」を大切にしながら、これから出会う人たちと素敵なハーモニーを奏でていてください。皆さんのこれからの歩みを、心から応援しています。

「またいつか」

人間福祉学科 江田郁夫

もともととは県立高校の社会科の教員でしたが、いつの間にか県立博物館の歴史担当の学芸員となり、最後は本学人間福祉学科の教員としてこの

三月に退職することとなりました。

スタートが教員だったので、最後の最後にまた教員に戻れて、そしてみなさんにも会えて、とても幸運でした。これからのみなさんのご活躍を心から期待しています。

今後は高齢者の一員として、余生を存分に楽しみたいと思っていますが、唯一気がかりなのは世界情勢が暗い影を落としつつあることです。日々のニュースが伝えてくれているように、いざとなると、私たちの小さな幸せは簡単に吹き飛ばされてしまいます。そうはならないように日本の現在を、そして未来を真剣に考える必要性をあらためて感じています。

老人の繰り言はこの辺にして、またいつか、どこかで

目にかかる機会を楽しみにしています。どうかお元気で！

「卒業生の皆様へ」

人間福祉学科 北爪あゆみ

令和7年度にご卒業の日を迎えられる皆様、誠におめでとございます。また、地域社会の第一線でご活躍されている同窓生の皆様におかれましては、変わらず健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平成28年度に医療事務モデルが開設されてから、早いもので10年という大きな節目を迎えました。私もこのモデルの開講と同時に宇都宮短期大学へ赴任いたしました。あたたかな諸先生方や学生の皆様に恵まれ、共に歩みながら多くの方を送り出してきたこの10年間は、私

にとって何物にも代えがたい、あつという間の歳月でした。

教壇から皆様を見守ってきたつもりでしたが、振り返れば、学生の皆様との関わりの中で得た刺激や発見こそが、私自身を成長させてくれたと感じています。皆様と共に過ごした日々は、私の人生において貴重で幸せな時間でした。心より感謝申し上げます。

この10年を振り返ると、コロナ禍をはじめとする社会情勢の変化など、困難な課題に向き合い、試行錯誤を繰り返した時期もありました。これから先、皆様も就職やライフステージの変化によって、時に悩み、立ち止まることもあるかもしれません。思い描いていた理想と、現実とのギャップに戸惑うこともあるでしょう。しかし、どのような経験であっても、それは皆

様に新しい世界を見せてくれる

「財産」となります。その一つひとつの積み重ねが、後に振り返ったとき、皆様の人生をより鮮やかに彩ってくれるはずです。失敗を恐れず、多くの経験を通して、豊かで幸せな人生を歩んでいかれることを切に願っております。

最後になりますが、私事で恐縮ながら、この度10年勤しんだ本学を離れることとなりました。学生・卒業生の皆様、学長先生をはじめとする教職員の皆様、これまで支えてくださったすべての方々に深く御礼申し上げます。皆様のさらなるご健勝とご多幸を、これからも心よりお祈りいたしております。10年間、本当にありがとうございます。

「できない」から始まる成長

食物栄養学科 鈴森 瑤子

さまざまな場でご活躍されている卒業生の皆さまに、心より敬意を表します。母校で過ごした学びの日々は、それぞれの現場でどのように生かされているでしょうか。本学で培った知識や、食に向き合う姿勢は、皆さまの歩みの中で形を変えながら、確かに息づいていることと思います。

現場では、たくさんの「はじめて」や、思い通りにいかない場面に出会うこともあるかもしれません。しかし、その一つひとつの経験こそが専門職としての力を育てていきます。悩み、考え、向き合い続ける時間は、皆さま自身の大きな力となっていくはずです。

人生は順調なときばかりでは

ありません。私自身も、立ち止まりながら試行錯誤の日々を重ねています。ときには大きな壁

揮ってください。皆さまのさらなるご活躍を心より応援しています。

を前に、「できない」と感じる瞬間もあるでしょう。しかし、その気持ちは決して終わりではなく、新しい力が生まれる入り口でもあります。焦らず、ご自身の歩幅で進んでください。そして振り返ったときに、「ここまで来た」と思える自分に出会えたら、その歩みを誇りに思ってください。順調なときも、迷いの中にいるときも、母校はいつでも皆さまを温かく迎える場所であり続けます。食物栄養学科では、8期生の新入生を迎え、多くの後輩たちが日々学びを重ねています。皆さまのご活躍は、在学生にとっても、私たち教員にとっても大きな励みです。どうか自身の歩みを大切にしながら、それぞれの場所で力を発

爽風 NEWS! 2025



【新任】

食物栄養学科

大山 可那子 先生

人間福祉学科

本並 健太 先生

【ご退職】

食物栄養学科

松田 千鶴 先生

土橋 典子 先生

人間福祉学科

江田 邦夫 先生

北爪 あゆみ 先生

編集後記

久しぶりに学祭で同級生と再会！仕事や子育ての悩みを話し、大人になったなー…と実感しました。また会おうね！

